

清川

KIYOKAWA

五月雨を 集めて早し 最上川

五月雨の季節、最上川が水かさを増し、豪壮雄渾な流れの早さから…。

清川は最上川を下った芭蕉主従が下船した地で、最上川の主要港で酒井藩が関所をおいた庄内の玄関口でもありました。

川岸の関所跡（清川小学校裏）に芭蕉の「五月雨を集めて早し最上川」の句碑と芭蕉像が建っています。

近くに幕末の志士「清河八郎」をまつる清河神社と、遺品や遺墨を展示した清河八郎記念館があります。

また、隣の狩川には楯山公園や歴史資料館（入館無料）もあり町民の憩いの場として親しまれています。さらには、風力発電について遊びながら学べる施設としてウインドーム立川（風車村）には、週末になると多くの家族連れが訪れます。



月の沢温泉

北月山荘の周辺には、キャンプをはじめとするレクリエーション施設が整備されている。ファミリーで楽しめるレジャー温泉。



清河八郎記念館

明治維新の志士清河八郎の威光を物語る資料や遺品が展示されている。12月から2月下旬は休館。



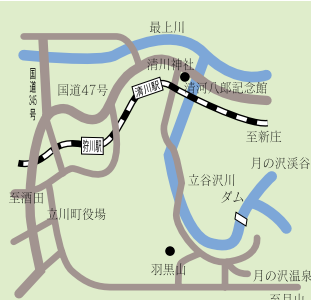
風の町立川

シンボル風車や風のモニュメントなど、地域の特性である強風を資源として活用しているのが立川町だ。



俳聖芭蕉上陸の地

かつての清川関所跡であり、さらに芭蕉一行の庄内上陸の地ともいわれている。



交通／陸羽西線清川駅下車

羽黒山

HAGUROSAN

有難や 雪をかほらす 南谷

清川から羽黒山へ向かった芭蕉主従は、呂丸の案内で羽黒山中腹の南谷別院に旅装を解き、別当代の会覚阿闍梨（えかくあじやり）から大変なもてなしを受け、7泊しています。

出羽三山は、およそ1400年前、崇峻天皇の第一皇子、蜂子皇子によって難行苦行のすえ開山された羽黒修験道の本拠地であり、麓の随神門から山頂まで2446段の石段が続く参道には、特別天然記念物の杉並木や国宝の五重塔があります。南谷別院跡は、参道二の坂を登り詰めたところを右手に400メートルばかり入ったところで、礎石や古い池が残り、昔日を偲ぶことができます。環境省認定の「かおり風景100選」にも選ばれました。



やまぶし温泉ゆほか

出羽三山にすっぽりと抱かれた山伏温泉。美しく雄大な月山の絶景を眺めながら湯浴みを楽しみたい。



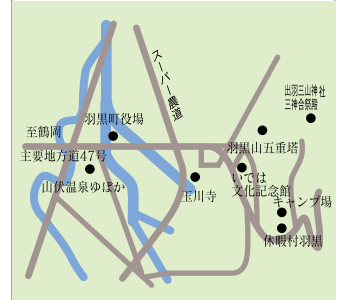
いでは文化記念館

羽黒山表参道入口近くにあるこの記念館は、出羽三山文化を丁寧に解説してくれる施設。特に神社の四季の祭りを紹介する映像シアターはぜひ見てみたい。



出羽三山神社

羽黒派山伏の根拠地として繁栄してきた羽黒山。この建物は、神仏習合時代の名残を語る貴重な物。樹齢500年程の杉並木は実に見事。



交通／羽越本線鶴岡駅よりバス50分